

フェネック

さばくの
こぎつね



フェネックは、アフリカのサハラさばくにすむ、きつねのなかまです。体の大きさはねこほどしかなく、せかいで一番小さなきつねです。ところが、耳だけは体の半分もあるほど大きいのです。この小さな体と大きな耳のすがたから、「さばくのこぎつね」とよばれています。

大きな耳には、さばくのアツさからみをまもるはたらきがあります。また、とおくの小さな音までよく聞こえるので、すなの中にかくれた虫なども見つけることができます。

さばくのすなは、おひさまにやかれて、とてもアツくなります。でも、フェネックの足のうらにはふさふさの毛がはえていて、アツいすなの上でもあることができます。

昼のさばくはアツすぎるので、すなのおかにほった、すずしいすあなの中で休みます。夜になるとかつどうして、虫やトカゲ、木のみなどを食べます。すあなでかくといていっしょにくらし、赤ちゃんも、すあなの中で大切にそだてられます。

せんたく(1)

フェネックはいつかつどうするのですか？

えらんで○をつけましょう。

①朝

②昼

③夜

せんたく(2)

大きな耳のはたらきはどれですか？

えらんで○をつけましょう。

①水をためる

②アツさからみをまもる

③そらをとぶ

きじゅつ(1)

なぜ「さばくのこぎつね」とよばれるのですか？

きじゅつ(2)

足のうらに毛があるのはなぜですか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1)むぎ

(2)こめ

(3)さと

--	--	--

こたえ

フェネック

せんたく (1) ③

(2) ②

きじゅつ (1) せかいで一番いちばんちい小さなきつねだから

(2) あついすなの上うへでもあるけるように

かん字 (1) 麦むぎ (2) 米こめ (3) 里さと